

西丹沢フィールド学習会報告

丹沢自然学校 小林昭五

2014年11月8日(土) 丹沢大山ボランティアネットワーク会員の交流会も兼ねて西丹沢フィールド学習会が行われました。西丹沢をベースにエコツアーリズム活動を展開している丹沢自然学校が役割を担当し、佐藤休三さんを中心に四人のスタッフで何度も下見学習をして計画を立てました。



左写真:

ゲート付近にて

右写真:

クズの葉っぱ遊び

当日の計画

8:50	新松田駅南口集合	12:00	犬越路トンネル
9:00	出発バスで移動	12:50	昼食 豚汁 交流会
9:40	西丹教室トイレ休憩	14:00	水生生物調査
10:00	林道ゲート	15:30	ゲート着 バス移動
10:10	アイスブレイク、後開始	16:30	新松田駅南口着 解散

最初に西丹沢フィールド学習会が13名の参加者で事故もなく、無事終了しました。事を報告させていただきます。自然観察会です。西丹沢の美しい紅葉を楽しみ、ボラネット会員の交流を深めました。植物観察紅葉黄葉等水生生物の観察最も良い時期でした。山頂付近では見頃を過ぎていました。山頂からの山腹に向かい紅葉の推移が観察理解できました。ウリハダカエデ、ウリカエデ、その他植物リンドウ、リュウノヒゲ、メギ、ホソエノアザミなど観察できました。ミツマタはすでに来年の花芽をつけていました。犬越路トンネル入り口付近で丹沢の生い立ち、岩石について学びました。



緑、白、黒の岩石集め、佐藤講師より 丹沢、岩石の説明

日中でも真っ暗な犬越路トンネルを抜けると、そこは秋の山谷だった・・・雄大な風景が見られます!!

犬越路トンネル（海拔1060m長さ約800m）にはコウモリが住んでいると思っただが残念！立派すぎ、風が入り、住处、止まり木などなし！中は真っ暗闇！夏夏でもひんやり時々強い風が通り抜ける、湧水、噴水良い体験にまりました。一人では恐ろしくて通れないな！通り抜け北側の風景を眺められる。皆で地図を広げ登山のための、地図の見方、コンパスの使い方の学習をする。役に立った。



左写真：コンパスの使い方を学ぶ

右写真：水生生物の観察

交流会

トンネル入り口休憩所で行いました。休憩所には、広場、東屋、ベンチがあったが今は広場だけです。湧水があり、風景も良く、学習材料が多くあるので、エコツアーには最適の場所です。

豚汁を作り交流を深めました。沢山歩いて疲れたので、美味しかったです。準備して下さった澁谷さん、小林昭五さんお疲れ様でした。



↑ハコネサンショウウオ

下山は途中で沢に下り、水生生物の観察を行いました。講師は神奈川大学の研究員、諏訪部さんです。諏訪部さんは以前、綾瀬市教委の教育研究員として、水生生物の採集に携わっていました。諏訪部さんから解説を受けました。中でもハコネサンショウウオは初めて捕まえ、初めて見ました。感激です。子供の頃、トウキョウサンショウウオを捕まえ遊んでいたのを思い出しました。ハコネサンショウウオは神奈川県レッドデータ生物に入っています。種の同定は難しく出来ないが、普段目にするものの少ない、底生生物を捕まえただけでも勉強になりました。有難う御座います。

学習会をまとめてみると

- 1 オオバコの花茎を使った強さ比べ、クズやオオバアサガラの葉を使った音だし、などの遊びゲーム
- 2 紅葉などの葉の分類名や生理生態学的な解説
- 3 秋の花の観察（イワシャジン、リュウノウギク、キッコウハグマなど）
- 4 丹沢山地の成り立ちと岩石の話。（白い石、緑の石、黒い硬い石など岩石集め、並べ分類、分布の考察）
- 5 トンネルの湧水について
- 6 地図の見方やコンパスの使い方の学習
- 7 水生昆虫や両生類の分類と同定

以上の盛りだくさん内容の学習や交流を行いました。また、昼食は豚汁をつくりました。

反省

西丹沢フィールド学習会交流会は、大変に内容のある学習会、交流会だった。ただ参加者が少ないことが残念である。協力して頂いた皆様、有難う御座います。



平成 27 年 1 月 25 日（日）
～高校生が取り組む！～「丹沢やまみち再生体験」

6 回目となる高校生が取り組む「丹沢やまみち再生体験」が 1 月 25 日（日）大倉尾根一本松ベンチ上部で、麻溝台高校・生田高校・大井高校の 3 校生徒 38 名（女子 1 名）先生 5 名計 43 名が参加して登山道補修活動に取り組みました。

一本松上のヌカルミ対策は今年で 4 回目となります。



作業前の挨拶



カケヤによる木杭打ち込み



岩礫運搬



事前に聞いていた参加予定の生徒数が 20 名と少ないことから午前中に丸太・木杭・間伐材などの搬送や仮設置を実施。早めの昼食後 11 時 30 分に多くの生徒数が到着、人数を確認したところ 38 名。

みろく山の会自然保護部長から作業の手順説明と活動中の安全確保を優先するようとの注意に続き、坪井理事長から使用する岩石は一般登山者の協力で荷揚げされたこと、高校卒業後丹沢に登った時にこの活動を行った登山道を歩き今日のことを思い出してほしいなどの挨拶がありました。

手空きが出ないように生徒を二班に分け、それぞれ丸太・間伐材を木杭やカスガイで固定するチームと岩石を運搬するチーム分けて活動開始。

作業は 1 時間ほどで終了、ヌカルミ対策が出来た登山道は予定通り 15m が完成しました。



岩礫敷設

作業後、井上先生から感謝の言葉があり生徒からありがとうの言葉で終了。



活動終了後の記念撮影

保全センター用追加

みろく山の会参加者

鈴木・久松・田中・土谷・日永・石井・河野・中出・島田・源島・坪井（11名）一般参加者1名

作業時刻 大倉発 8:05 倉庫① 9:00 準備開始 11:30-12:30 高校生作業

倉庫① 14:00 大倉着 14:50

使用材料

間伐材 14本 0.9m丸太 15本 木杭 30本 カスガイ 60本

岩礫 フレコンバック 2個分



作業前

ヌカルミ対策



作業後



作業前

一本松岩石置き場



作業後

平成 27 年 1 月 31 日

NPO 法人みろく山の会

自然保護部 鈴木 茂

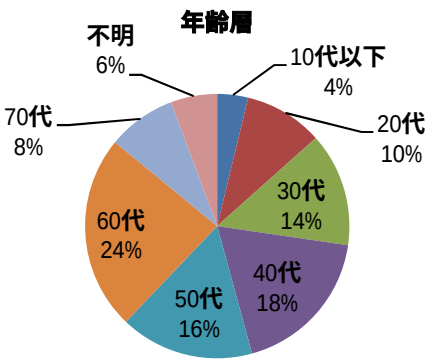
丹沢大山登山者環境意識調査 実施報告 (速報)

調査期間 平成26年6月20日～11月30日

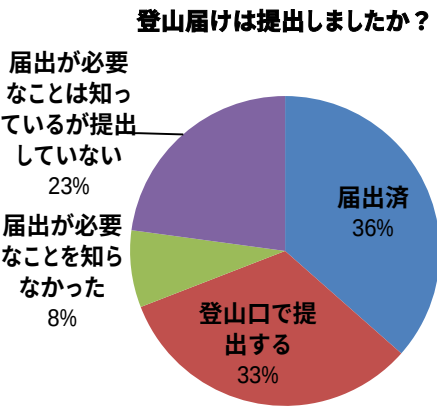
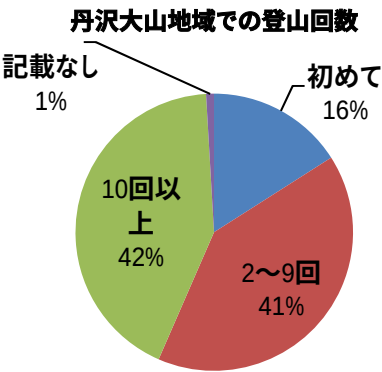
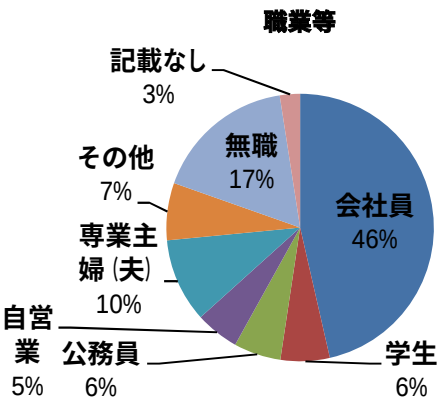
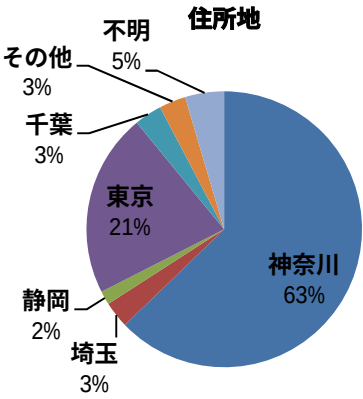
調査方法 NPO法人みろく山の会、NPO法人丹沢自然学校、NPO法人四十八瀬川自然村の協力により、大倉、西丹沢、大山登山口付近で調査票を配布。
秦野・宮ヶ瀬・丹沢湖の各ビジターセンター、西丹沢自然教室、大山観光案内所、ヤビツ峠売店、鍋割山荘、尊仏山荘、みやま山荘、蛭ヶ岳山荘へアンケートと回収箱を置かせていただいた。

回答数 739枚

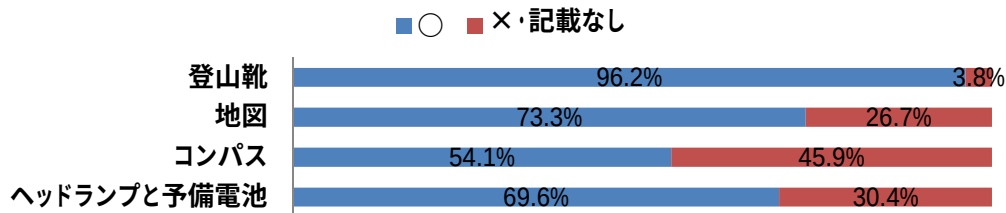
回答者情報 男性60.6%、女性37.8%



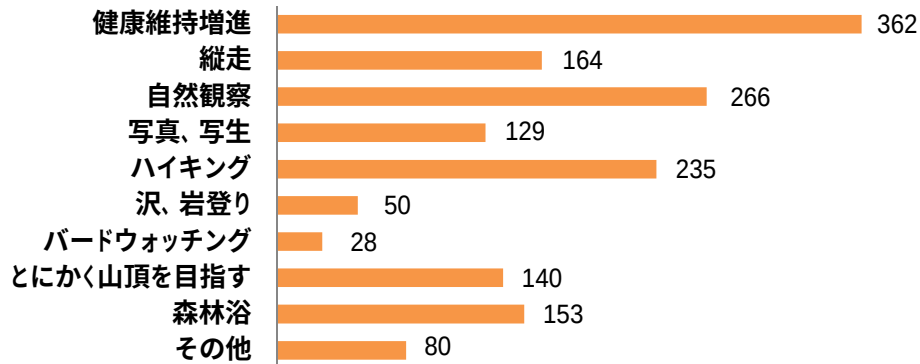
湘南自然観察クラブ 田中さん、かながわフィールドスタッフクラブ 樋田さん製作 アンケート回収箱



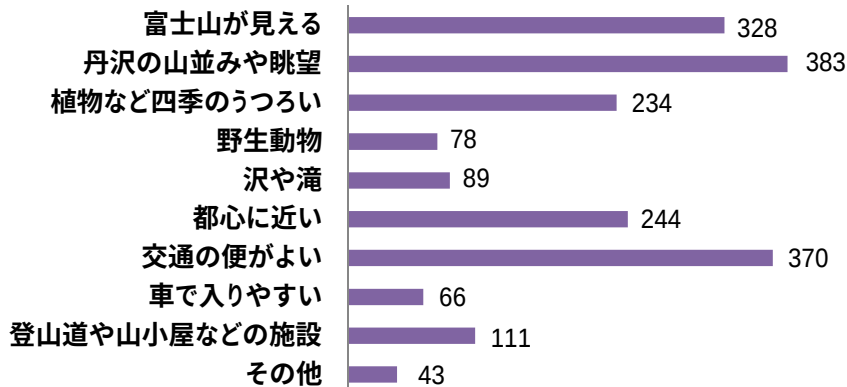
登山の準備、装備は万全ですか？



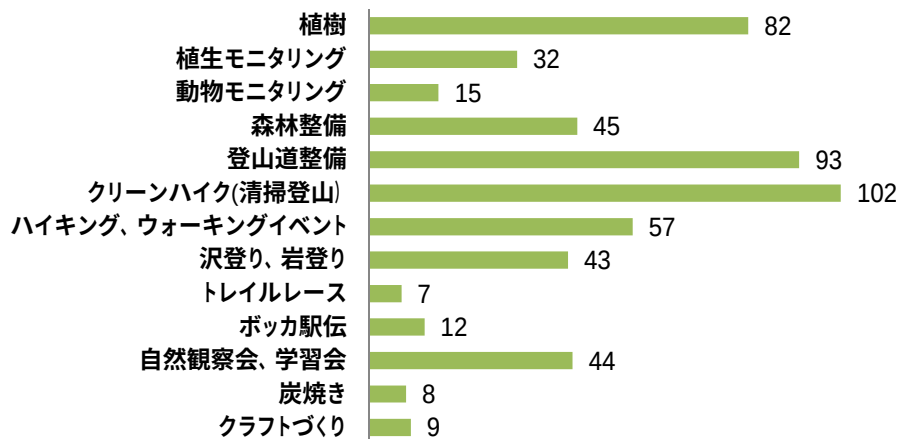
登山の目的は何ですか？ (複数回答)



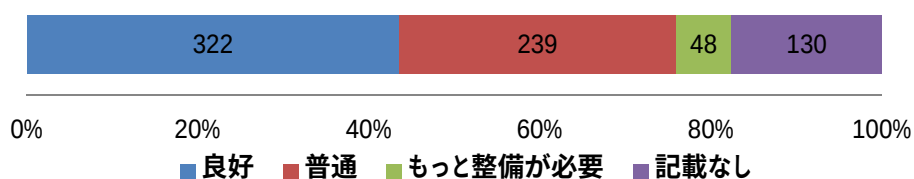
丹沢大山の魅力は？ (複数回答)



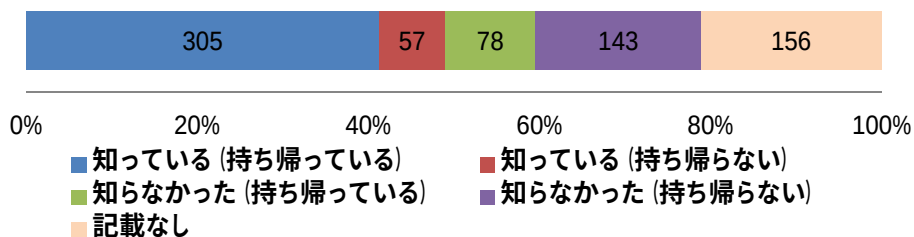
丹沢大山地域で参加したことがあるものは？ (複数回答)



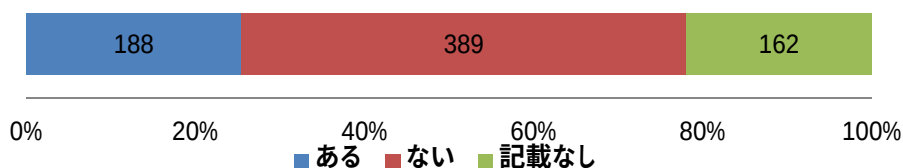
登山道の整備状況は？



丹沢大山では使用済みのトイレ紙の持ち帰りをお願いしていることを知っていますか？



丹沢大山地域の水場を利用したことがありますか？



自然環境への影響はどの程度だと思いますか？

